

選択肢の開発1

対話型調停の流れ・構造

挨拶/契約	安心・安全な場を保証 手続への期待を醸成 話し合い方への合意
声 (Voice)	参加者が対等に語れる時間を持つ
選択 (Choice)	現実的に取り得る選択肢をはっきりさせる 当事者が自分で決める

課題の特定

合意文書作成

調停人関与の全体像

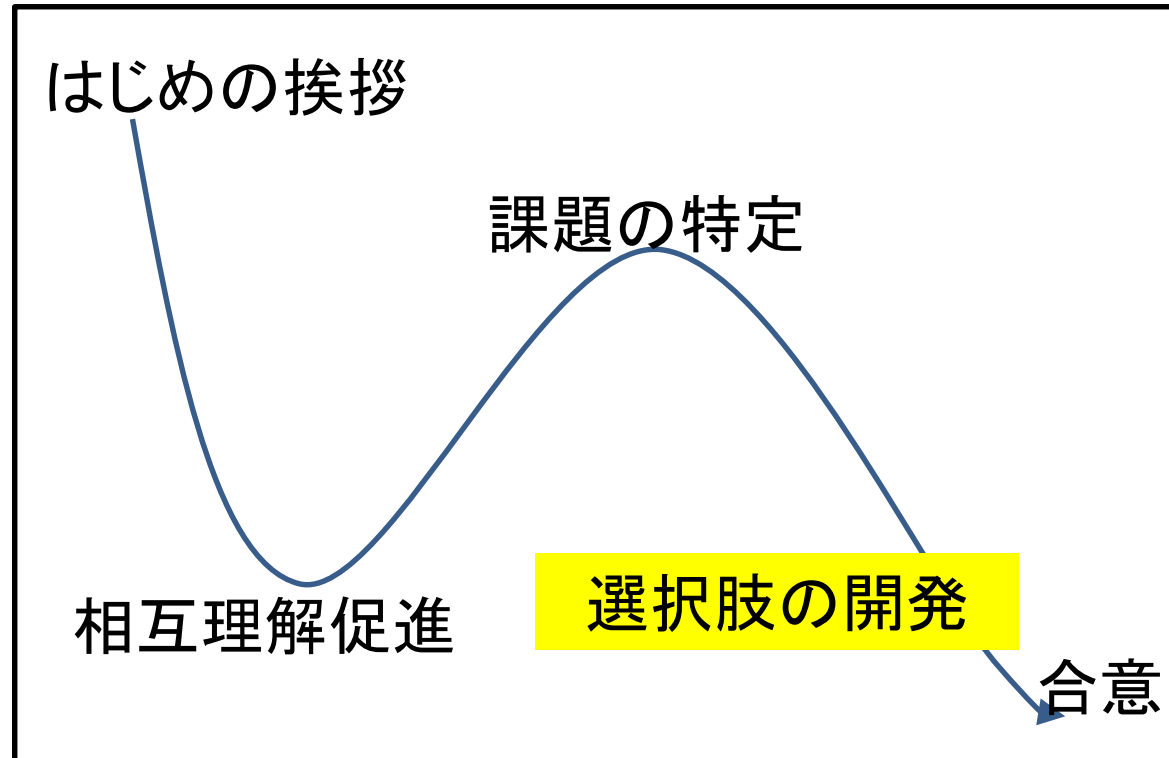
抽象的

[共通性確認]



[各々の語り]

具体的



はじめの挨拶

課題の特定

相互理解促進

選択肢の開発

合意

[引き取り]



[促し]

調停人主導

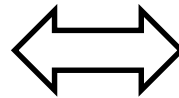
当事者主導

課題の扱い方

小さな課題から

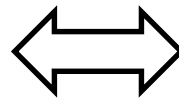
金銭は最後に

調停人主導で順序を決める



大事な課題から

当事者に順序を決めてもらう



選択肢の開発

- 優先順位を付ける
- ブレインストーミングの手法を使う
- 選択肢の絞り込み、実効性のチェック

アイデアを拡げる場面と、絞り込む場面を
明確に区別すること！！